

# 授業科目 陸上競技領域指導実習

【担当教員名】 丸山 敦夫		対象学年	3	対象学科	スポ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 陸上競技の指導法を文科省保健体育指導要領に則り学ぶ。授業のあり方として学生は指導案を作成し教師役と生徒役に分かれて授業を展開する					
【学習目標・行動目標：SBO】 学生は陸上競技の特性を理解し、指導法の実践力を身につける。 1. グループごとに指導案を作成し教師役と生徒役に分かれ授業を行う。 2. 授業の指導法についてそれぞれの立場で評価し指導力を養成する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	陸上競技の特性と授業展開について			1,2	担当：丸山 敦夫
2	短距離走とハードル走の指導案作成			1,2	担当：丸山 敦夫
3	短距離走の指導法			1,2	担当：丸山 敦夫
4	ハードル走の指導法			1,2	担当：丸山 敦夫
5	長距離走の指導案作成			1,2	担当：丸山 敦夫
6	長距離走の指導授業			1,2	担当：丸山 敦夫
7	走り幅跳び・走り高跳びの指導案作成			1,2	担当：丸山 敦夫
8	走り幅跳びの指導法			1,2	担当：丸山 敦夫
9	走り高跳びの指導法			1,2	担当：丸山 敦夫
10	投てきの指導案作成			1,2	担当：丸山 敦夫
11	砲丸投げの指導法			1,2	担当：丸山 敦夫
12	リレーの指導案作成			1,2	担当：丸山 敦夫
13	リレーの指導法 1			1,2	担当：丸山 敦夫
14	リレーの指導法 2			1,2	担当：丸山 敦夫
15	まとめ				担当：丸山 敦夫
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 ・出席 ・指導案の作成と指導法のレポートを評価する		【履修上の留意点】 グループを作り学生同士で教師役や生徒役ん割り振りを行い、指導案作成や指導案に基づいた授業を展開する			